

第119回:中国の麥克白

江戸時代、広く人口に膾炙した川柳に「売り家と唐様で書く三代目」という傑作がある。親や先達の栄光を追求して夢破れた歴史上の人物は多い。邦家では延喜天曆の治への回帰を目指し挫折した後醍醐天皇の例があるし、泰西では偉大な伯父の足元にも及ばなかったナポレオン三世の例がある。春秋の筆法を拡大解釈すれば、重慶で失脚した薄熙来は、毛沢東を目指して馬脚か鹿脚を露呈したミニ毛沢東と記憶されることになるだろう。いま報道が世界中を駆け巡っており、これをフォローするため、国内外の情報誌や資料を取り寄せており、その出費が乏しい懐中を直撃しかねないので、居酒屋への立ち入りを制限すべきか否か頭を悩ませているところである。とは云え道楽が嵩じると病膏肓に入るのは世の習いであり、フォーサイスやルカレの謀略小説より遥かに面白い薄熙来事件を無視することはできず、中華三昧生活は当分続きそうである。ゆうべ映画関係者の友人と一献傾けたとき「中国の蘊蓄は聞かないよ」と筆者の饒舌を警戒する彼に対して、「まあまあ、黙って聞きなさい」と重慶事変の経緯を野心家の薄熙来と、その妻で美人弁護士谷開来夫人を中心に紹介した。最初は興味なさげに聞いていた彼だが、徐々に身を乗り出し始め、はなしが英国人の謀殺事件に到ると、彼は「まるで黒澤映画の《蜘蛛巣城》だね」とコメントした。流石は業界人だ、云われて気付いたが、薄熙来夫妻は中国版マクベス夫妻に違いない。

「蜘蛛巣城」は黒澤映画のなかでも珍しく、おどろおどろしい妖気に満ちた作品である。ときは戦国時代、主演は三船敏郎。深い森に囲まれて難攻不落を誇ってきた蜘蛛巣城が味方の謀叛で窮地に陥る。あわや絶体絶命の危機と思われたが、このピンチを救ったのが城主配下の鷲津(三船敏郎)と三木(千秋実)、彼らの獅子奮迅の働きで敵は退却する。ところが二人は凱旋の帰途、深山幽谷のなかで路に迷い、物の怪の老婆に遭遇する。妖婆は「いずれ鷲津が城主となり、三木の子供がそのあとを継だろ」と予言する。家に戻った鷲津は妻(山田五十鈴)に向かってこの不思議な経験を語り、野望に火がついた細君は亭主に城主を殺害するよう持ち掛ける。最初は躊躇した鷲津だが悪魔の囁きに動揺し…そして悲劇の幕が開く。

原作はご存知シェークスピアのマクベスである。そうか薄熙来は重慶のチンドン屋ではなく、スコットランドのマクベスであったかと筆者は卒然と悟り、これは大発見だと喜び、念のため帰宅後に自宅で「薄熙来」と「麥克白(マクベス)」でグーグル検索すると、既に中国語で「中国版麥克白夫妻」といったスレッドが何本も立っており、世の中には同じことを考える人が多いものだと感心した。映画のあらすじを続けると主君と親友を殺害した鷲津に復讐の手が迫り、彼は再び妖婆のもとを尋ねる。彼女は「この森が動き、城へ押寄せぬ限りおぬしは敗れぬ」とし、それを聞いた彼は狂喜乱舞して城に帰る。ところが城に戻った彼の眼前に、蜘蛛巣の森が陸続と押し寄せ、それを驚愕の表情で眺めていた彼を飛箭が射抜き、彼は城から転げ落ちて落命する。押し寄せた森とは全軍木の枝で偽装した敵の勢力であった。この作品の舞台を中国に移せば、三船敏郎が薄熙来(イケメン)、山田五十鈴が谷開来夫人(美人)、家老の志村喬が胡錦濤ないしは温家宝、親友の千秋実が米国公使館に逃げ込んだ公安局長(幸い殺されずに済んだが)、押し寄せてきた森を人民と解釈すると、まさに莎士比亞(シェークスピア)悲劇そのものである。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3



ここで話は50年近く昔に溯る。1966年に毛沢東が発動した文化大革命で、劉少奇や鄧小平をはじめとする数多くの党政府高官が肅清されることになったが、毛沢東の仕掛けた巧妙な罠に嵌り、真っ先に呼応したのは、皮肉なことに高官の子弟たちであった。毛沢東から「封建時代の遺物や資本主義文化を破壊して、新しい社会主義文化を創生しよう」と呼びかけられた少年たちは、紅衛兵を組織して一斉に街に飛び出した。北京には党政府高官の子弟が学ぶエリート中学や高校がいくつかあり、その筆頭が北京第四中学である。「四中」OBで中国の政界財界で活躍中の人物を年齢順に並べると、**俞正声**(政治局委員)、**陳元**(国家開発銀行、父＝陳雲党副主席)、**馬凱**(國務委員)、**孔丹**(中信集団、父＝孔原調査部長)、**秦曉**(招商局集団)、**薄熙来**(前政治局委員、父＝薄一波副首相)、**劉源**(解放軍総後勤部政治委員、父＝劉少奇国家主席)等の錚々たる人物が登場する。これが太子党だ。王岐山副首相のように結婚後に上流社会に入った人物は本流ではない。因みに毛沢東暗殺に失敗し、モンゴル草原に墜死した林彪副主席の長男・**林立果**と俞正声は四中の同級生だ。今月アメリカで亡くなった民主運動家の方励之博士も四中である。

閑話休題、そんな経緯で、彼ら太子党の子弟たちは一時期、紅衛兵として文化大革命に積極的に参加した時期がある。まさか自分の親が右派分子として失脚し、自分たちも反動派の紅衛兵として追及されるとは、当時夢にも思わなかったのである。薄熙来たちも紅衛兵活動に参加し、太子党紅衛兵は活動の理論根拠として「血統論」を主張したことで知られている。彼らは臆面もなく、「親父が英雄であれば息子は豪傑、親父が反動派であれば息子は馬鹿者」という血統を振りかざしたと云うから、彼らの名門意識は今も昔も極めて高いようだ。太子党を政府高官の子弟と定義して間違いではないが、より正確に云えば縁戚や出身校などのコネを使って、最高指導者たちに自由にアクセスできる人たちを指す。その意味で党政治局委員のなかで太子党をランク付けすれば、筆頭が薄熙来、二番が習近平、次いで俞正声と劉延東だ。王岐山は主流派ではないし、李源朝に至っては単なる地方政府高官の子息にすぎない。自他共に認める太子党の代表者である薄熙来が何か勘違いして、中国最高指導者の座を狙っても何の不思議もない。薄熙来が幼少のみぎりに見栄を切った「血統論」を一種の予言とすれば、その予言は約50年後に的中した。残念ながら「親が英雄であれば息子は豪傑」ではなく、それに続く後段の「親父が反動派であれば息子は馬鹿者」が見事に的中したことになる。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年4月19日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。